

第 90 回メーデー岩手県中央集会でのあいさつ（2019 年 5 月 1 日）

第 90 回メーデー岩手県中央集会にご参加の皆さん、ご苦労様です。日本共産党を代表して心からの連帯のあいさつを申し上げます。

4 月 21 日投票の衆院選補欠選挙では、沖縄 3 区で、オール沖縄の屋良朝博候補が圧勝しました。この勝利は「米軍新基地建設ノー」のとどめの審判となりました。大阪 12 区では、市民と野党の共闘の旗を掲げて奮闘したことは、今後の市民と野党の共闘の発展にとって大きな財産をつくるものとなりました。二つの選挙で自民党候補を敗北に追い込んだことは大きな意義をもつものです。

来るべき 7 月の参議院選挙で、岩手と全国で「本気の共闘」を実現し、安倍自公政権を過半数割れに追い込む闘いを進めようではありませんか。共産・自由・社民の 3 党は、2 月 18 日に、横澤高德さんを野党統一候補と決定し、横澤高德さんは県内各地の集会や団体を駆け巡っています。「弱者にやさしい社会はみんなにやさしい社会」「車いすの目線で政治を変えたい」「共通政策の 10 項目の実現」の訴えと横澤さんの人柄に、大きな共感と感動が広がっています。本気の共闘めざしさらに奮闘し、野党共闘の源流である岩手で、必ず勝利しようではありませんか。

統一地方選挙における論戦は、自民党を追い詰めています。消費税の 10%増税中止を求める論戦とたたかいは、安倍政権の動揺を広げています。萩生田自民党幹事長代行は、「崖に向かってみんなを連れて行くわけにはいかない」と消費税増税見送りの可能性に言及しました。安倍政権も認めざるを得ない深刻な消費不況と景気の後退という経済情勢のもとで、消費税の 10%増税を中止に追い込むことは、くらしと経済を守るうえでいよいよ重大な課題となっています。国民のたたかいと参院選の勝利で必ず増税を中止させましょう。

労働者の大幅な賃上げと労働時間の短縮を勝ち取ることは、国民の暮らしと経済を守るうえでも重要な課題です。

高すぎる国保税の引き下げと均等割りの減免は、社会保障政策の矛盾の集中点となっています。400 万円の所得の 4 人家族の場合、国保税なら 40 万円、協会けんぽなら 20 万円—これはあってはならない格差です。全国知事会が要求している 1 兆円の国費の投入で国保税を引き下げるたたかいを広げましょう。

憲法 9 条に自衛隊を明記するという安倍政権の改憲は、戦争する国づくりへの道であります。共同通信の憲法問題の世論調査（4 月 11 日）では、54%が安倍首相の下での憲法改正に反対しています。

皆さん。今日のメーデーが国民・県民のたたかいを広げ、参院選での市民と野党の勝利めざす跳躍台にしようではありませんか。日本共産党は皆さんと共に戦うことを表明し連帯のあいさつといたします。